

あ
い
な
ん

議会

だ
よ
り



第3号
2025.9

住民とともに歩む議会を目指して



南宇和高校PTA取材しました。

南宇和高校魅力化会議

一般質問、議員研修結果報告

あいなんBOOKピクニック(本屋遠足)事業

お知らせ、編集後記

p2-3

p4-6

p7

p8



町ホームページで
過去の紙面も
ご覧いただけます。



二次元コード
を読み取って
ご覧ください。

保護者の方たちの声[🔊]を聞く



南宇和高校魅力化会議

南宇和高校の魅力化について保護者の方たちの声を聞く「南宇和高校魅力化会議」を7月11日に行いました。会議は、議会だよりを担当する委員会で企画し、南宇和高校の保護者6人が参加してくれました。

温かい雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、保護者の皆さんの率直な思いや願いが多く寄せられました。会議で出されたご意見は、町民の皆さんと共有し、まちづくりに役立てていきたいと思えます。その中から、保護者の皆さんのご意見をいくつかご紹介します。



子どもたちの学びの場について（叶夢センター）



うちの子は1年生の頃から叶夢センターを利用していますが、静かに勉強できる環境があってとても良いと言っています。年上の生徒が多くて最初は緊張したようですが、すぐに慣れて、自分のペースで学べる場として活用できているようです。



進路指導も丁寧にしていただいているようで、“この大学に行きたいならこういう準備をしようね”と具体的に教えてもらえるのが心強いです。高校3年生になってから進路を決める子が多い中、もっと早くから考えられるような仕組みがあれば子どもたちの負担も減るのかなと感じました。



授業も楽しく取り組んでいるようで、参観したときには先生方がとても丁寧に教えてくださっていて安心しました。タブレットを使った授業にも取り組んでいて、私たちが高校生だった頃と比べるとずいぶん変わったなあと感じています。



業科と地域振興部携できたらより活動につながり、が魅力化につながるのではないかと？

高校を卒業したけれど大学に入れなかった子が母校で1年～2年無料で勉強できる高校が他県にはあるようで、子ども親も負担が減り助かる。魅力化につながるのでは？

その他の
意見
(会議内での発言)



農業科の魅力とこれからへの期待

農業科に進んだうちの子は、“実習が面白い！”とよく話してくれます。実際に育てたり加工したり、手を動かして学べるのが楽しいみたいです。昔いた先生が生徒に自由に発想して試行錯誤させてくれる授業をしていて、その頃は活動がとても充実していたと聞きました。



今は加工品がジャムだけになってしまったのがちょっと残念。パンやお菓子などもっといろんな加工ができるようになると、子どもたちの学びも広がるし、地域の魅力発信にもつながると思います。



せっかくいろんな特産品がある町なので、農業科の名前や内容を今どきの言葉にアレンジして、町外からも“ここで学びたい、と思って来てくれるようにできたら面白いんじゃないか”と思います。



地域とのつながりをもっと

地元の魅力を子どもたち自身が知らないまま卒業してしまうのはもったいないです。海の幸や山の恵みなど、愛南町には誇れるものがたくさんあるので、授業や体験の中でそれを知る機会がもっとあればいいなと思います。



地域の人たちにも“何か手伝えることがあれば”という気持ちのある方は多いと思います。先生方だけに任せるのではなくて、保護者や地域の大人も関われるような仕組みがあると、子どもたちにとっても良い経験になるんじゃないでしょうか。



部活動についての不安と願い

生徒数が減るとともに部活の数が減って、やりたいことができない子もいるのが現実です。顧問の先生の負担も大きいと思うので、外部のコーチの力を借りるなど、地域と協力して子どもたちの“やりたい”を叶えていけたらいいですね。



バレーやサッカーなど、町内で活動している大人のクラブと一緒に練習している子もいます。でも、それが“部活動”として正式に認められないのはもったいないと感じます。子どもたちの頑張りがちゃんと評価されるような仕組みがあればと思います。



ご協力ありがとうございました

南宇和高校PTAの皆さん

このの かくや 孝野 覚也さん ただかず 久能 忠和さん なつみ 竹田 夏美さん
しずえ 中野 静枝さん せいいちろう 瀧口 さやかさん 梁瀬 誠一郎さん

今回の会議では、「わが子のために、そして地域の未来のために」という保護者の皆さんの真剣な思いがたくさん語られました。学校、保護者、地域、そして議会が手を取り合い、南宇和高校をもっと魅力ある学校にしていく——その第一歩となるよう、私たち議会も皆さんの声をしっかりと受け止め、今後の活動に生かしていきます。



高校生が作ったものを町内でもっと販売することにより、地域のつながりや高校生のスキルアップにつながるのでは？

お菓子やソース作りなど加工の専門家に指導に入ってもらえれば、より良い商品開発につながるのでは？

農が連発なそれるの

6月議会

「そこが聞きたい」 5名の議員が一般質問

各議員が、第一次産業の振興や防災、教育等の町政の広い範囲にわたって一般質問を行いました。



岡 雄次



Oka
Yuji

問 児童発達支援センターの開設準備の進捗状況について問う

答 児童発達支援センターの設置については、令和7年度の開設を目指していたが、必要な機能の確保と円滑な運営のため、関係機関を含めた一層の確認が必要と判断し、令和7年度の開設を見送り、現在ある資源や体制を生かした設置を目指して開設場所も含めて協議をし、令和8年度中の開設を目指す。

山本 美佐



Yamamoto
Misa

問 小中学校で毎年行っている貧血検査だけの目的の採血検査について、費用対効果、保護者への説明・同意可否確認の有無について

答 費用対効果は高いと考えている。今後は保護者への説明とともに同意書での確認をする。

問 校区外通学のスクールバス運用・校区について

答 現在変更の予定はないが、教育委員会でもさまざまな件について協議をしていく。

金繁 典子



Kaneshige
Noriko

問 米の安定供給のため、生産者と消費者双方を守るための対策は？

答 現況を調査する。未利用の農業機械などを農業者に提供できるように取り組みたい。

問 真珠養殖産業、新規就業・後継者支援は？

答 真珠関連の経済状況はおおむね好調に推移している。後継者等支援は関係団体と相談して可能であれば進めたい。

問 ごみ減量の取り組みは？

答 生ごみの再資源化を含め今後検討する。家具などの粗大ごみは住民が無償で持ち帰れる取り組みを考える。

池田 栄次



Ikeda
Eiji

問 災害関連死について問う

答 災害関連死のリスクを抑制するためにさまざまな避難所運営対策を講じるとともに、審査会の設置・条例等の整備を早急に実施し、平時より委員を委嘱して審査体制を整える。

問 大規模災害時の復旧・復興について問う

答 地域の現状・課題に応じた改修・改良工事等の事業計画を検討し、事業者の能力維持のための支援及び災害に強いまちづくりのための防災・減災対策の強化に取り組む。

二次元コードを読み取ると一般質問の動画が視聴できます。



石川 秀夫



Ishikawa
Hideo



問 愛南町の物価高騰対策について

答 産直や直販の活用により、生産者と消費者をつなぐ仕組みづくりに取り組む。

問 令和7年度当初予算の総額18億円の委託料の今後の施策と取り組みについて

答 引き続き、町内業者を優先する考え方により、適切なアウトソーシングを活用していく。

問 愛南町の今後の農業政策について

答 研修や支援制度を活用し、新規就農者を支援するとともに、機械化による省力を図り、持続可能な農業を推進する。

児童発達支援センターとは？



就学前の児童を対象に通所による（児童発達支援）を提供しつつ、広く地域の障害児やその家族を対象とした相談援助や、障害児を預かる施設への援助、助言（保育所等訪問支援）の機能を併せ持つ地域における障害児支援の核的な相談機関です。

議員研修結果報告①

5/23 愛南町議会議員研修会

愛南町議会では、議員の質と能力の向上を図るため、計画的に研修を行っています。

さる5月23日、役場本庁議員協議会室にて、議員改選後の初めての研修として、全国町村議会議長会議事調査部の平野誠^{まこと}参与を講師に迎え、「議会の権限と議員の役割」「議会の個人情報の保護」をテーマとした研修会を開催しました。

平野氏は、川崎市議会事務局で長年にわたり議会の事務に携わってこられた経験も含め、議会の仕組み等について分かりやすく説明され、議員としての基礎知識の向上に資する研修となりました。

今後も町民から信頼される品格と存在感のある議会を実現するため、日々の研さんに努めてまいります。



議員研修結果報告②

6/23 ハラスメント防止研修

さる6月23日、役場本庁大会議室にて、令和7年第2回愛南町議会議員研修会を開催しました。この研修は、NPO法人こころ塾の中原未知^{みち}生^{ちお}氏を講師に、男女共同参画の観点からハラスメントを防止するためのものであり、今後も本町議会議員のハラスメントに対する意識の向上に努めてまいります。



ハラスメントとは、個人の尊厳や人格を不当に傷つける許されない行為です。近年、地方議会におけるハラスメントが問題となっておりますが、これを対岸の火事と捉えるのではなく、他山の石と捉え、より良い議会へと歩みを進めていく必要があると考えています。

議員研修結果報告③

8/8 県議長会「町議会議員研修会」

8月8日、松山市で町議会議員研修会が開催され、本町議会から12人が参加しました。この研修会は、議員の資質向上と議会活動の活性化を目的に、愛媛県町村議会議長会が毎年主催しています。

今回は「議会が行うべき予算・決算審議について」と「自治体議員のコンプライアンス」をテーマに講演が行われました。

特に予算・決算審議においては、「事前検証」としての予算審議、「事後検証」としての決算審議など、議会自らが検証を行う重要性を再認識しました。今後は、総合計画や課題、住民ニーズとの整合性を丁寧に確認しながら審議に臨みたいと考えます。





6月議会定例会で補正予算を議決

本屋遠足事業が新たにスタート!



愛南町の新たな読書推進事業



愛南町では、子どもたちに読書の楽しさを体験してもらうための新たな取り組みとして、「あいなん BOOK ピクニック（本屋遠足）」事業を開始します。本事業は、児童・生徒が総合的な学習の時間等を利用して書店を訪れ、自分で本を選び購入することで読書への関心を高め、学習意欲の向上を図ることを目的としています。

この取り組みを実現するため、6月議会定例会において補正予算を審議し、議決しました。町の教育環境向上の一環として、本屋遠足事業が正式に予算措置されることとなり、子どもたちへの支援が本格的にスタートします。

補正予算の概要と事業内容



議決した補正予算の中には、本屋遠足事業の実施費用として約 201 万円が計上されました。その内訳は以下のとおりです。

- ・書籍購入補助（図書カード費用）：約 182 万円
- ・バスの運行費用：約 19 万円

対象となるのは町内の約 910 名の児童・生徒で、総合的な学習の時間等を利用し、学校（学級）単位で書店を訪れ本を購入し、読書の楽しさを体験できるよう工夫されています。

財源と支援の輪の広がり



本事業は、「ふるさと寄附金」を活用して実施されるため、町の財政負担を軽減しつつ、子どもたちに貴重な学びの場を提供できます。全国からの温かい支援によって実現したこの事業は、単なる読書活動にとどまらず、地域の書店を訪れる機会を創出し、子どもたちが本と触れ合う習慣を身につけることを目指しています。

今後の取り組みへの議会の期待



本事業は継続的に実施する予定で、毎年約200万円の予算を確保しながら、事業の効果測定や改善を進めていく予定です。また、町内の書店との連携を強化することで、地域全体の読書文化の発展にも貢献することが期待されます。さらに、愛南町観光親善大使である作家・早見和真^{かずまさ}氏との連携が検討されている点についても、本事業の魅力を一層高め、子どもたちの読書意欲を喚起する有効な取り組みとして、議会として前向きに評価しております。

この事業を通じて、子どもたちが読書に親しむ習慣を身につけ、愛南町の教育環境がより豊かなものとなることを強く願っております。加えて、地域文化の発展や書店の活性化につながる好循環が生まれることを、議会としても引き続き支援・注視していきます。



傍聴 においでください!

議会の本会議や委員会を傍聴することができます。

本会議(定例会及び臨時会)の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、議場の傍聴席で傍聴してください。

また、本会議は専用サイト(愛媛CATV)でインターネット中継を行っています。



愛媛 CATV

委員会の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、各委員会が開催される会議室で傍聴してください。

今後の予定

9月3日(水)~12日(金)

9月定例会

- ・正式には議会運営委員会で協議の上、本会議で決定します。
- ・本会議の開催日は町ホームページに掲載します。

「議会報告・意見交換会」を開催します

~ご意見をお聞かせください~

議会の活動状況を報告し、町政全般について町民と意見交換を行う「議会報告・意見交換会」を開催します。10月に開催が決定した分は次のとおりです。お住まいの地域に限らずどなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

【日時・場所】

10月22日(水)18:30~ DE・あ・い・21

10月28日(火)18:30~ 一本松山村開発センター

※実施方法など、詳しくは町ホームページに掲載します。

テーマ募集

特集「南宇和高校の魅力化」、いかがでしたか?この企画は、住民に集まっていただいて、一つのテーマについてたっぷりと語り合い、町の活性化につなげようというものです。今後も続けていく予定で、語り合うテーマを募集しています。テーマがありましたらぜひ議会までご連絡ください。

✉ gikai@town.ainan.ehime.jp



編集後記

「議会だより」第3号、いかがでしたか?

『議会だより』を読んでいた
だき、ありがとございます!
気づけばもう9月。今年度も、
あつという間に折り返し地点で
す。
私は今年度から『議会だより』
の委員として関わることになり
ました。議会広報特別委員会
は、毎回いろんな意見が飛び
交っていて、「なるほど!」と
思うことが多く、すごく刺激
を受けています。

今回の特集では、「南宇和高

校の魅力化」について、保護者
の皆さんから熱い思いをたくさ
ん聞かせていただきました。地
域と学校、そして議会がつな
がって、前向きな一歩になれば
うれしいです。
テーマを募集していますので、「こんなことを取り上げて
ほしい」「ここがちよっと気
になった」など、気軽にご意
見・ご感想を頂けると、とても
励みになります。(山本)

皆さんの声を聴かせて!

皆さんのなぜ?あれはどうなったの?これをしてほしい etc...

小さな声を集めて、大きな声にするのが、私たち議会の仕事です。町民の皆さんからの「声」をお待ちしています。二次元コードからどうぞ!

皆さんの声は
こちらまで▶



編集委員会メンバーのご紹介

やる気
満々!

田中	岡	尾崎	嘉喜山	山本	金繁
純樹	雄次	恵一	茂	美佐	典子